



▲若山浄化センターを見学する参加者

楽しい工作を通して再利用を学ぶ ～缶・響ふえすた2001～

10月13日(土)、らっぱ公園と登別中央ショッピングセンター・アーニスでまちなか活性化イベント実行委員会主催による『缶・響ふえすた2001』が開かれました。

この催しは、環境美化やリサイクルに関心をもってもらおうと開かれたもので、空き缶やペットボトル、新聞紙を持参すると買物券と交換できるとあって、多くの市民が会場を訪れました。

この日、にぎわいを見せたのは、空き缶とワイヤーハンガーを利用しスタンドライトを作るコーナー『未来はピカソ君』。たくさん子どもたちが、楽しい工作を通して、再利用を学びました。



最終処分場などを見学

～市民見学会～

10月17日(水)、21日(日)の2日間、市民見学会が行われました。

この市民見学会は、登別のまちづくりが進む様子を市民のみなさんにもっと知ってもらい、市政への理解を深めていただくため、市が毎年春と秋に開催しているもので、2日間で37人の方が参加しました。

参加者は、昨年完成したクリンクルセンターや廃棄物管理型最終処分場をはじめ、若山浄化センター、特別養護老人ホーム『緑風園』などを見学。

参加した中央町の草野ノブ子さんは「以前からゴミがどのように処理されているのに関心がありました。環境に配慮した最終処分場を見学して安心しました」と感心した表情で話していました。



▲クリンクルセンターでゴミ処理の説明を聞く参加者

風のように駆け抜ける

～2001ツール・ド・北海道国際大会～

9月17日(月)、2001ツール・ド・北海道国際大会の第5ステージが市内で行われました。

今年で15回目となるこの日本最大のロードレースが登別市で開かれるのは3年ぶり。出場する実業団9チーム、大学5チーム、海外から参加の5チームの選手やスタッフが早朝からスタート地点の市役所前に集合しました。

上野市長の号砲とともにスタートした選手たちは、札内町、登別温泉町、カルルス町を経て、今大会最大の難関オロフレ峠を越えるコースを疾走。札幌市までの全長164^{キロ}のコースに挑む選手たちへ、沿道の市民から大きな声援や拍手が送られていました。



『北の旅人』に感動

～南こうせつCONCERT TOUR 2001・さあ歌おう～

9月28日(金)、市民会館で文化・スポーツ振興財団主催による『南こうせつコンサートツアー2001～さあ歌おう』が行われました。

このコンサートは、幌別中学校の第13期から第17期生が結成した『南こうせつを聴く会』が企画や運営などに協力。会場はファンなどで満席になりました。

南こうせつさんの歌声やギターの素朴な音色に聞き入っていた観客は、1970年代の大ヒット曲『神田川』が歌い終わるとアンコールを求める盛大な拍手を送りました。

南こうせつを聴く会の吉鷹能武子さんは、「たくさんの方に聞いていただきうれしいです。『赤ちょうちん』やアンコールで歌った『北の旅人』がよかったですね」と感動した様子で話していました。

